

○タウンミーティング議事録(概要)

日 時:令和3年10月10日(日)

午後2時から午後3時45分まで

場 所:細入公民館 ホール

出席者:46人

テーマ 第2次富山市総合計画後期基本計画(案)について

【テーマの説明に対する質問】

・山田地域ほどではありませんが、細入地域でも移住の話があり、進めたいと思っています。県の方で富山Uターンガイドというのがあり、移住支援金特設ページの各市町村の中に富山市という欄もありました。そこで、空き家についてですが、そこで住みたいという空き家のリフォームの支援などを充実していただきたいと思います。

また、富山市は公共施設が特に多いという話なんです。細入地域にも旧細入村保育所、それから北部保育所と南部保育所、それと南部公民館、これもほとんど使われておらずそのままになっています。周辺は年に1、2回草刈りをしていただいているのですが、見た目もよくなく、そこを整地していただいて、他の施設にまわしてもらえないでしょうか。

(市長)

山田地域は地域おこし協力隊という制度を活用して、今回、神戸でシェフをなさっていた方が山田の特産品を生かしながら地域活性などにつなげていけないかということで、一生懸命やっています。確かに素晴らしいことだと思いますので、私たちも一生懸命探しますが、もしこの地域で、どなたか県外や市外からいらっしゃる方があれば、アイデアやお知恵を拝借しながら進めていきたいと思っています。

空き家のリフォームについては、状況にもよりますが、制度としては、例えば親元に

お子さんがUターンして同居をするために空き家をリフォームするということに最大300万円までを給付するという制度がございますが、なかなか空き家そのもののリフォームという制度はありません。しかし、今後空き家が増えることが予想されますので、活用できる空き家をどのように活用していくかということについては、今のご意見も踏まえて考えさせていただきます。

また、公共施設は本当に多いわけです。同じ機能が重複しているような公共施設、ホールや体育館、グラウンドなどを含めて、たくさんあります。今おっしゃったように、すでに使われなくなった施設や使用停止になって、そのまま使っていない施設もあります。最終的にこれは税金で維持管理していくことになりますので住民の皆さんが最終的に負うことになってきます。まだ正式なものではありませんが、私が今、富山県なんかと話をし始めようと思っているところですが、ホールなど利用率が極端に少ないところや、県と市であっても、これは二つ一つでいいんじゃないのかというようなところも、行政は違えど、今後、話していかなければならないと思っています。

もう一つ大事な観点は、この細入エリアや山田エリアも含めて、数や効率性だけでは判断できない施設もあります。そのようなものは必要であればしっかりと残していくということも考えておりますので、そこはまた意見交換させていただければと思います。効率は大事ですが効率だけで計れない部分もあるということです。

・たまたま昨日、民放で富山県の人気度が出ていましたが、去年は26位でしたが、今年は24位にアップしております。今後ますます藤井市長の時に富山県が上がるようにお願いしたいと思います。

・デジタル放送(防災行政無線)がよく聞こえません。対応をお願いします。

藤井市長は選挙の時に合併前の旧町村に核になるものを作らなければという話をしておられましたが、全く同感です。私の考えですが、細入地区の核になるものは株式会社ほそいりだと思います。ここにもう少し力を入れてもらえば、細入はもっと活性化する

と思います。天湖森、温泉、楽今日館などの活用について様々な問題がありますが、株式会社ほそいりを市で育てていただいて、活性化していただきたいと思います。

また、先ほど中学校と小学校の義務教育学校の話がありましたが、若い人に住んでもらうためには、団地を造れば良いと思います。田んぼがありますから、やろうと思えばそこに団地を造って、若者に住んでもらい、高齢者ばかりに援助するのではなく、若者が住めるようなまちを作りたいと思います。

(市長)

デジタル放送が聞こえにくいことにつきましては、どのような状態なのか調べさせていただいて、せっかく防災無線でデジタル放送をかけていても、聞こえないのでは全く意味がありませんので、何がどう聞こえにくいのかということをお教えいただければと思います。

株式会社ほそいりさんは、頭が下がるほど一生懸命に努力されており、この熱い努力に何とかお答えしたいというのが私たちの思いであります。また、このエリアの大切な企業でありますので、私たちとしても、何とかその経営努力に答えられるように、お手伝いできることをしっかり考えていきたいと思っています。

お湯は残念ながら上の方から引っ張っているのは壊れていますので、シーテックのところの源泉をタンクローリーで運ぶことで対応することになっています。(11月12日より再開)

天湖森のリニューアルについては、株式会社ほそいりの方々のご意見も入れながら、かなり案が煮詰まっています。また皆さんにご披露できる時があればいいかと思っています。

・学校再編について、私たちは地元の学校をどうしていくかということを2年、3年かけて皆さんと話し合い、今年の9月ごろに義務教育学校として残して欲しいという要望書を市に提出しております。同じころに水橋地区の義務教育学校が大きく取り上げられ、

私たちが驚きましたが、地元の方たちも要望書を出してからかなり経っているのに学校のことはどうなったんだろうか、中には、この学校で教育を受けさせたいということで、引っ越して来られた方もおられます。そういう人たちに答えるためにも、ぜひ神通碧小学校、楡原中学校を残していただきたいと思います。

先月の未来創生フォーラムに私もオンラインで参加しました。その時に、適正規模の学校ではあるけれども、それ以下、それ以上のもも存在していいであろうと、それが富山型の特性あるモデル教育でないかというような話もあり、小規模校のさらなるネットワークを広げた教育が、今後ICTなどを活用して、どんどんデメリットを改善していけるというお話も聞きましたので、ぜひ、この二つの学校を残していただきたく、よろしくお願いたします。

(市長)

お気持ちは十分、受け取りました。ただ専権事項として教育委員会の所管でありますので、私がこうでありますということは、絶対言えないわけであります。ただ、最近、法律が変わり、市長と教育委員会が対等の立場で公に富山市の教育について意見を述べ合える、方向性を議論し合えるという場が認められましたので、今のことも踏まえて、教育委員会にはこういう意見があったという話をさせていただきます。

水橋は五つの小学校と二つの中学校が一緒になり、全校で七百名余りの義務教育学校としてはちょうど適正な規模になります。「水橋」という土地柄や旧水橋高校の跡地を利用するということもあり、地域にしっかりとハマったということで、現在、一生懸命進めております。やはりその地域によって、特に旧細入エリアと旧山田エリアというのは地域性がすごくあって、今まで神通碧小学校と楡原中学校が一緒のところにあるという歴史があり、言ってみれば小中一貫の義務教育学校のように、すでになっているわけです。山田もまさにそうであります。こういうことをしっかりと考えながら、地域で残していくものはしっかりと残していかないと、地域の衰退にすぐにつながるので、このような話も教育委員会にはさせていただきますと思います。

【その他意見交換】

・鳥獣被害についてですが、ここではあらゆる動物が出ています。あまりにもひどいので、昨年、細入地区では有害鳥獣の対策会議をつくり、各地区から集まって定期的に会議を行っています。今年は熊のエサが山にたくさんあり、近くに来ることは少ないですが、サルがだんだん増えています。私の地区でも去年、大群が50日、はぐれザルが39日という割合でサルが来ております。大群には赤座先生がサルに発信機をつけられたため、2キロぐらいの範囲であれば、サルが来れば方向も含めてわかりますので、先に待っていて、追い払うような対策を取っております。そのおかげで被害はいつもよりも少なくなってきたと思いますが、やはり高齢者の方が楽しみで作っている作物をとられてしまいます。以前に電気柵などいろいろ作ってもらいましたが、サルも勉強して、今では電気柵を越えて来ます。また、電気柵を設置するにはいろいろと基準があり、ちょっとした家庭菜園をやっておられる方には、マッチングしない、基準に満たないということがありますので、基準の緩和などを考えてください。さらに、基準の緩和もありますが、電気柵をやっているのはもう細入しかないと思います。そのあたりを考えて対策をよろしく願いいたします。

(市長)

熊については、今年は報告も少ないわけですが、富山県の方でICTを活用してカメラで熊の姿をキャッチするとすぐにメールが入ってくるような実証実験をやっており、スマホやメールに通知が行くわけです。今、どこを熊が通過しましたと。猿の発信機とほとんど一緒の役目をするんですが、サルの被害も大変なものであります。富山県も富山市もここにいらっしゃる赤座先生に、専門家ということでよくお知恵を拝借しておりますので、細入の方々や先生にも相談しながら、どんなことをすれば的確に対策を講じることができるのかということをご指導いただきながら考えていきたいと思っております。

・常虹の滝について、その昔、流しそうめんで一世を風靡しましたが、現在、遊歩道が崩落しているということで、市の方で柵を作って中に入らないようにしています。それを見た地元の方々を中心に、これではいかんということで、できるところから整備をやっていきます。それに協力をしているところですが、このように、ただ単に入場制限するだけでいいのでしょうか。富山の 37 滝のうちのひとつである常虹の滝は地図にも載っており、何とかそれを復活させて、以前のような賑わいをつくりたいということがひとつです。

また、猪谷駅前の賑わいの復活ということで、猪谷駅を中心にしてレンタサイクル、電動アシスト自転車を駅前に数台置けないかということで、話を始めております。富山の中心街の方にフランス製の高い自転車が何台もあり、稼働率の話も聞きますが、それを何台か譲っていただくことはできないのでしょうか。

(市長)

常虹の滝ですが、私が就任させていただいて、市の引き継ぎでは、今のところ整備しないという方針を伺っています。それから行ってないものですから、1 回また、現地を見させていただきたいと思います。

また、猪谷駅前の賑わいづくりですが、今のご意見にあるように自転車でその周辺を散策できるようなことも含めて、アイデアをいただければと思います。中心市街地に置いてある自転車はレンタルであり、市所有ではなくレンタル会社の所有物であります。ですので、あれを持ってくることはできませんが、いろんなアイデアがあれば教えていただければと思います。

・先ほど楽今日館の話もございましたが、もう数週間しますと、神通峡は素晴らしい紅葉シーズンでありますので、ぜひまたおでかけいただきたいと思います。

また、先ほどご意見がありましたように、合併以前から使っていない施設がずっと残っております。地域の方々、特に郡部、中山間地の方々からは未だに「合併しなければよ

かったのに」ということを言われる声も耳にいたします。合併当初のビジョンであります 7
市町村の均衡ある発展、ぜひとも藤井市長にはこのことを心がけていただきたいと願
いします。

※発言の一部を整理して掲載しています(広報課)